



# たもんじ 交流農園

## 2019年5月号 Vol.14

「たもんじ交流農園便り」は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。

 たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



## うちの畑じまん 第7回 白田治美さん



こんにちは、白田です。家庭菜園を始めて丸3年、今年は4年目を迎えます。

春先は収穫物が少ない時期なのですが、のらぼう菜、スナップえんどう、そら豆などは、晩秋に種まきをして冬越えさせ、早春に収穫ができるので、冬期中も畑を活用でき、寒さが残る時期でも「そろそろ畑の様子を行こうかな・・・」という気分させてくれる貴重な野菜たちです。

白田の畑では3年続けてそら豆を栽培しているのですが、そら豆はアブラムシにやられやすい性質があります。1年目は寒くてぐうたらしているうちに6、7本に整枝するタイミングを逃し枝が暴走してジャングル状態になり、風通しの悪さからアブラムシが大発生。毎週駆除におわれて大変なことになりました。2年目は摘心をしなかったのでやたら背丈だけ成長してしまい、柔らかい芽はアブラムシの餌食、サヤは沢山ついたものの豆が1～2粒しか入らず売り物にはほど遠い品質に（涙）。

今年こそはこの3年目は、2月から畑に行き、一株に6本に枝を整え、背丈が1m位になった所からてっぺんの成長点をとって摘心。追肥、細い枝切りなど、細めに世話をしたところ、アブラムシはつくものの株の生育には殆ど影響なく、豆も3～4粒入りスーパーで売っていてもおかしくない程の出来栄えを達成しました！（自画自賛）

色々工夫してみたり実験してみたり、野菜栽培はとても面白いです。始めから上手くできなくても、マイペースでやっていると少しずつ上手になっていくような気がします。それに、もし不出来でも「今年は雨が少なかったからね～」などと、お天道様のせいにしてしまえるのも自然相手ならではの魅力ですね。（白田治美記）



## 新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 7-1-①

田村さん、永井さん(ご友人)



① 絵本・かえる雑貨を販売している「かえるのトンネル」を運営しています。喫茶もやっていますので、どうぞ遊びに来て下さい。絵本づくり教室も開いています。

② 寺島なす、半白きゅうりなど江戸野菜を中心に、トマト、いちごなど自分の好きな野菜なども。

③ 江戸野菜について学びたいと思います。

④ 無農薬でどこまで育てられるか挑戦したい(素人ですが)と思います。江戸野菜を育ててみたいです。楽しく自分のペースで育てたいです。



# こんにちは！アドバイザーの水口です！

シリーズ第一回

今期より新たに農業アドバイザーをお願い致しました水口さん。そのお人柄は軟らかく豊富な知識とスキルで優しく私たちを導いて頂けること間違いなしです。今回よりシリーズで水口アドバイザーとのインタビューを掲載致します。(インタビュアー：牛久、小川)



(牛久) 素人ばかりで初めたのですが、大丈夫でしょうか？  
(水口) 逆に素人ばかりだから、色々と楽しめていいと思います。プロの集団だと、みんな牽制しあって仲良くできない。また、初めての人は、本を読んだだけでは、分からない。実際にやってみていただくことが、一番です。



(牛久) どの程度まで育つと収穫すればいいのかわからないですね。

(水口) それは、鳥のほうが良く知っています(笑)

(牛久) どの時点で追肥をすればいいのかも、素人には難しい。

(水口) 有機栽培は、肥料不足になりがちです。有機肥料の場合は、量を多めにし、早めにやる必要があります。有機は、匂いがあるので、虫とか鳥とか寄ってきます。完全に虫を防御しなくてはならない。手で取り捲る覚悟が入ります。

(牛久) 素人でもやはり失敗すると気持ちが萎えるところがあるのですが、それに打ち勝つにはどうしたらいいのでしょうか？

(水口) 失敗したら、「次は繰り返さないぞ」と思う気持ちですよね。失敗の原因をはっきりさせる。原因をはっきりさせれば、次にそこを直していけますから(続く)。

※水口アドバイザー来園日は次回 6/16(日)、その次は 7/14(日)、時間は 10時～4時です。また耕作チームの活動日は 5/19(日)、26(日)で、6月の予定は現時点未定です。

## てらたま協議会より

### 5/26(日) プロの農家のワザを学ぼう!～千葉県佐倉市の農場での農業体験!

8時：東向島駅前集合～9時：現地到着～オクラのタネ蒔き、パプリカの定植、有機肥料の施肥、有機栽培の講習等～14時半～16時：東向島駅前解散。講師：佐々木佑介氏。2,500円/大人(昼食代込)、定員10人くらい、申込み：5/20(月)21時まで 牛久090-3222-2688まで

### 「地産江戸東京野菜・寺島なすを皆で栽培しよう! イベント」(全3回)

第2回 6/16(日) 追肥と剪定～より大きく立派なナスを实らせる為に、個人ではなかなか難しい追肥と剪定に挑みます。10時～11時半。講師：水口さん。100円/大人(資料付)。

第3回 7/14(日) 収穫祭～いよいよ収穫です。もぎたての「青りんご」味を堪能すると共に、ピザ釜使って採り立ての寺島ナスをアツアツに。10時～。2000円/大人(ドリンク、ピザ等付)。

### 「ウッドデッキ作りワークショップ」(来年3月までだいたい20回位(未定))

第2回 6/2(日) ビオトープ整備とウッドデッキ束石基礎編：10～16時、第3回 6/16(日) ウッドデッキ束立て・パーゴラ柱立て・大曳編① 10～16時、第4回 6/23(日) 同② 10～15時。

### 残り僅か!! フル(約11㎡)1区画! ハーフ(約5.5㎡)2区画!!

対象：たもんじ交流農園を創設し、江戸野菜を復活させるという当協議会の理念に賛同頂ける方他、耕作期間：～2020年3月、農園会費：フルサイズ/約11㎡(7畳)：5,000円/月、ハーフサイズ/約5.5㎡(3.5畳)：2,500円/月、応募方法：①お名前、②ご住所、③電話番号、④メルアド、⑤フルサイズ or ハーフサイズ、⑥自己PRを [teratama.machidukuri@gmail.com](mailto:teratama.machidukuri@gmail.com) 迄メール下さい。



たもんじ交流農園便り  
No.14-般 2019.5.20 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<https://www.facebook.com/teratama/>

問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

▲セブン-イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。